石川県母子福祉センターの平成20年度管理状況

施設所管課	健康福祉部少子化対策監室子育て支援課(平成21年度子育て支援担当)
指定管理者	財団法人 石川県母子寡婦福祉連合会
	会 長 釜 谷 則 子
指定期間	平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日

(1)管理業務の実施状	況
業務内容	具体的な業務 (仕様書、事業計画) の実施状況
(協定・条例に規定)	(不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の	施設の使用受付・承認(30件)、案内等の接遇向上
提供に関する業務	・職員全員に対し、月間予定表及び当日の利用予定の確認、丁寧な
	対応を徹底
	利用者の苦情・意見の把握・対応
	・利用者アンケートの実施
	・ご意見箱の設置
	施設の管理に係る業務
	母子家庭及び寡婦の福祉指導・援助に関する業務
	その他特記事項
	・保育遊具を配置し、母子家庭の母が子供とともに利用できる
	ように配慮する。
	・図書コーナーの充実
利用の促進に関する業	自主事業の企画・実施
務	・リーダー研修会(延べ45名参加)
	・ふれあい講座(延べ579名参加)(H20 新規講座追加)
	・おやこふれあいフェスティバル(1300名参加)
	・母子及び寡婦福祉大会(375名参加)
	施設の情報提供、広報、広告
	・ホームページの更新
	・広報紙「母子寡婦福祉いしかわ」の配布(7000部)
	周辺地域、関係機関との連携・協同の推進
	・各地区母子会等と連携によるイベント等の主催
使用の許可に関する業	使用許可
務	・使用許可の件数((2) 参照)
	・使用料の収入実績なし
施設、設備及び備品の維	警備、清掃、環境測定、冷暖房保守、電話設備保守、電気工作物保守、
持管理及び修繕に関す	昇降機保守、防虫駆除、防災設備等保守、建築設備定期検査、防火対
	象物定期点検、冷温水機保守、重油タンク漏洩検査
る業務	以上、女性センター入居団体と共同で実施
(その他知事が必要と	緊急時の対応・安全管理などの危機管理
認める業務)	・「自衛消防隊の設置」「危機管理マニュアル」の策定
	・消防訓練の実施
	個人情報の管理状況
	・個人情報保護対策について、職員全員に徹底
	・顧客情報のパスワード管理

(2)施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H 1 9 年度	H 2 0 年度	前年度比	増減理由
	(参考)			
利用者数(人)	7,077人	7,490 人	106%	新講座開設及び研修会の開催
稼働率(%)	-	-	1	で利用者増善等

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
研修室 1	2 3 件	-	
研修室2・3	1件	-	
母子相談室	6 件	-	

(3)使用料の収入実績 該当施設なし

(4) 収支決算

(単位:円)

収入			支 出	(1
管理料	9,834,000	賃金		4,923,210
雑収入	1,964	需用費		691,946
			消耗品費	420,889
			修繕費	209,947
			印刷製本費	36,750
			被服費	24,360
		役務費		414,149
		使用料及び賃借料		741,018
_		委託料		3,065,641
合計	9,835,964	合計		9,835,964
収支差額	0			

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項) 利用者の意見等

(ア)利用者アンケート結果(平成20年11月~平成21年3月31日実施)

(有効回答数130件)

項目			回答		
	良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
利用者サービス	66.7%	30.2%	-	3.1%	0 %
施設の維持管理	60.2%	39.8%	-	0 %	0 %

(イ)利用者からの意見、苦情、要望(意見箱に投函されていたアンケートに記載されていた意見)

左 口	出效	*+1¢
年月	内容	対応
不明	・(前に研修室を使用していた団	・研修室に掃除用具を設置し、自由
	体に)ゴミを拾って帰って欲し	に使用できるようにした
	l l _o	・職員に使用後の点検を徹底させた
	・畳のゴミが目立つ	
	・使用後に掃除がしてあるように	
	は思えない。	
不明	・行事案内がしてなかった	・1階ホール案内板に行事予定を記
		載した
		・5階エレベータ前にも案内板を設
		置した
不明	・駐車場が満車でことわられた時	・駐車場が混雑する場合があること
	に大変困る。	を知らせ、公共の交通機関の利用
		を促すこととした

事故、故障等 特になし

その他報告事項など 特になし

(6)評価結果

評価項目	結果	所見 (工夫、改善点)
サービスの維持・向上	Α	・ 利用者アンケート調査を行い、苦情があった点をすみ
や利用促進に向けた		やかに改善するなど、利用者の声を運営に活かすこと
取組みが行われてい		でサービスの質を向上させている。
るか。		・ 講習会等における保育サービスの提供や、図書コーナ
		-の設置など、より利用しやすい環境を充実した。
		・ イベント内容を充実した結果、利用者から好評を得て
		おり、利用者数が増加している。
		・ 1階にパンフレットを置き、また、5階の掲示板への
		掲示による母子家庭への情報発信に努めている。
		・ 広報紙・HP を通してセンターの周知に努めている。
施設、設備及び備品の	В	・ 仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
維持管理及び修繕が		・ 他の入居団体と共同で、効率的な管理が行われている。
適切に行われている		・ 消防設備及びその使用方法の確認が適切に行われてい
か。		る 。
適切に管理運営・危機	В	・ 自衛消防隊の設置や危機管理マニュアルの作成、消防
管理を行う組織・体制		訓練の実施など適切に安全対策が行われており、職員
となっているか。		への指導も適切に行われている。
		・ 適切に職員の配置がなされており、緊急連絡網により

		即時に連絡がとれるようになっている。
その他、必要と認める 事項(例:苦情処理、 個人情報保護)	В	・ 個人情報保護対策について職員全員に徹底させ、データは、パスワード等により適正に管理されている。・ 個人情報を扱う職員は、鍵付きの棚で必要な書類を管理している。
総合評価	В	・ 施設の設置目的にあった管理運営がなされている。

評価基準

A(優):仕様書等に定める水準を上回っている

B(良):仕様書等に定める水準を十分に実施している C(可):仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、

一部改善を期待する部分がある

D(不可): 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

A(優): 適正であり、優れた実績をあげている

B (良): 適正である

C (可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する

D (不可): 改善が必要である

(7)助言・指摘事項

特になし